

介入項目: 禁煙 No.1

筆頭著者: Masahiko Iwaoka
論文タイトル: 職域での健康教育プログラムの効果-中高年前の高脂血症症例への対策-
雑誌名 (Vol, No, Page, year): Journal of Cardiology (64, 3-4, 318-323, 2014)
論文種類: <input checked="" type="checkbox"/> 原著
研究デザイン: <input type="checkbox"/> 無作為化比較対照試験 <input checked="" type="checkbox"/> 比較対照試験 <input type="checkbox"/> (無作為化)比較対照試験のメタアナリシス <input type="checkbox"/> その他 ()
実施された場所・地域: Tokyo Kita Social Insurance Hospital
対象集団の特性: <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 職域 <input type="checkbox"/> 地域と職域の混合集団 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (禁煙外来受診者) 人数: (男性: 53 女性: 33 総計: 86) 年齢(才): (範囲: 平均or中央値: 禁煙成功群 60.2±11.3, 失敗群 60.4±11.7) BMI(kg/m ²): (範囲: 平均or中央値: 禁煙成功群 G 23.5±3.6, 失敗群 22.9±3.9) 腹囲(cm): (範囲: 平均or中央値:)
介入実施期間: 2010年 8月~2013年 4月 (期間(年数or月数or日数):)
介入後観察期間: 年 月~ 年 月 (期間(年数or月数or日数):) <input type="checkbox"/> 介入後観察期間無
介入の内容(具体的に箇条書きで書いてください): Vareniclineを用いた12週間の禁煙プログラム ・Vareniclineは 1.0mg 1日2回で用いた。(最初の3日間は、0.5mg1日1回、次の4日間は0.5mg1日2回、それからは11週間の、1.0mg1日2回)
アウトカム: ・定期的なフォローは1, 15, 29, 57, そして85日目に行われた。 ・Self-reported smoking status と呼気CO濃度 は毎回の受診で評価。 ・禁煙成功の定義は、9~12週の中で呼気CO濃度で4週間連続した禁煙が確認された時。 ・血液検査は、最初と最後の受診で施行し、総コレステロール、トリグリセリド、HDLコレステロール、CRP、空腹時血糖、HbA1c、apc A-I。
BMIや腹囲で対象者を限定または層化した分析: <input type="checkbox"/> あり (カットオフ値:) <input checked="" type="checkbox"/> なし
結果: 介入前後のアウトカムの変化を検定方法、P値・信頼区間、共変量とともに記載してください。非肥満者に限定または層化した解析結果があれば必ず記載してください。 ・89例中、69例が禁煙に成功した。 各群の変化 ・禁煙成功群では、12週間の間で体重が有意に増加(P<0.01, paired t検定)、HDLコレステロールは増加(P<0.01, paired t検定)、血清ApoA-IIは増加(P<0.01, paired t検定)、CRPは有意に減少(P=0.04, paired t検定)した。 ・失敗群では、CRPが有意に増加した(P=0.04, paired t検定)
結論: Vareniclineを用いた禁煙に成功した群は血清ApoA-I、HDL-コレステロールが改善した。
備考: 本研究は、Vareniclineを用いた禁煙介入に成功した群と失敗群を比較したものである

介入項目:禁煙 No.2

筆頭著者: 関 奈緒
論文タイトル: 職域での健康教育プログラムの効果-中高年前の高脂血症症例への対策-
雑誌名 (Vol, No, Page, year): 新潟医学会雑誌(118(1), 21-30, 2004)
論文種類: <input checked="" type="checkbox"/> 原著
研究デザイン: <input type="checkbox"/> 無作為化比較対照試験 <input checked="" type="checkbox"/> 比較対照試験 <input type="checkbox"/> (無作為化)比較対照試験のメタアナリシス <input type="checkbox"/> その他 ()
実施された場所・地域: 日本(新潟 長野 秋田 山形)
対象集団の特性: <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 職域 <input type="checkbox"/> 地域と職域の混合集団 <input type="checkbox"/> その他 (詳細不明) 人数:(男性:53 女性:0 総計:53) 年齢(才):(範囲: 平均or中央値: 禁煙群:45.3±10.4 対照群:N/A BMI(kg/m ²): (範囲: - 平均or中央値: 禁煙群:23.3±2.2 対照群:24.0±4.1 腹囲(cm): (範囲: - 平均or中央値: N/A
介入実施期間: 時期の詳細不明(期間(年数or月数or日数): 1ヶ月)
介入後観察期間: 年 月~ 年 月(期間(年数or月数or日数):) <input checked="" type="checkbox"/> 介入後観察期間無
介入の内容(具体的に箇条書きで書いてください): 禁煙教室に参加し1ヶ月後に完全に禁煙できた禁煙群と、禁煙教室に不参加のボランティア対照群の1ヶ月間の検査所見を比較
アウトカム: BMI、総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール
BMIや腹囲で対象者を限定または層化した分析: <input type="checkbox"/> あり (カットオフ値:) <input checked="" type="checkbox"/> なし
結果:介入前後のアウトカムの変化を検定方法、P値・信頼区間、共変量とともに記載してください。非肥満者に限定または層化した解析結果があれば必ず記載してください。 ■介入前後および群間のアウトカム: BMI(kg/m ²);禁煙群で23.3=>23.9(0.5増加:p<0.01)、対照群で24.0=>24.1(0.1増加:n.s.)(群間比較p<0.05) 総コレステロール(mg/dl);禁煙群で191.5=>193.3(1.8増加:n.s.)、対照群で193.3=>191.6(1.7減少:n.s.)(群間比較n.s.) 中性脂肪(mg/dl);禁煙群で144.4=>137.4(7.0減少:n.s.)、対照群で98.3=>110.8(12.5増加:n.s.)(群間比較n.s.) HDLコレステロール(mg/dl);禁煙群で48.8=>54.0(5.2増加:p<0.01)、対照群で52.5=>53.3(0.7増加:n.s.)(群間比較p<0.05)
結論: 中高年者における禁煙は、HDLコレステロール値の改善をもたらすことが示唆された。
備考:

介入項目: 禁酒・減酒 No.1

筆頭著者: Makoto Ayaopri
論文タイトル: 職域での健康教育プログラムの効果-中高年前の高脂血症症例への対策-
雑誌名 (Vol, No, Page, year): Journal of Nutritional Science and Vitaminology (46, 4, 171-174, 2000)
論文種類: <input checked="" type="checkbox"/> 原著
研究デザイン: <input checked="" type="checkbox"/> 無作為化比較対照試験 <input type="checkbox"/> 比較対照試験 <input type="checkbox"/> (無作為化)比較対照試験のメタアナリシス <input type="checkbox"/> その他 ()
実施された場所・地域: 海上自衛隊下総基地
対象集団の特性: <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 職域 <input type="checkbox"/> 地域と職域の混合集団 <input type="checkbox"/> その他 () 人数:(男性: 40 女性: 総計:) 年齢(才):(範囲: 35-56) BMI(kg/m ²):(平均: 介入群24.4±3.0 対照群24.0±2.0) 腹囲(cm):(範囲: 平均or中央値:)
介入実施期間: 4週間
介入後観察期間: 年 月 ~ 年 月 (期間(年数or月数or日数):) <input checked="" type="checkbox"/> 介入後観察期間無
介入の内容(具体的に箇条書きで書いてください): ・4週間の禁酒。 ・他の生活習慣は変えない
アウトカム: 総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール
BMIや腹囲で対象者を限定または層化した分析: <input type="checkbox"/> あり (カットオフ値:) <input checked="" type="checkbox"/> なし
結果: 介入前後のアウトカムの変化を検定方法、P値・信頼区間、共変量とともに記載してください。非肥満者に限定または層化した解析結果があれば必ず記載してください。 対応のあるt検定により介入群、コントロール群それぞれの前後比較を行った。 アウトカム 介入前の平均値(標準偏差)→介入後の平均値(標準偏差) (P値) は下記である。 *p<0.05 ・総コレステロール, μmol/L 介入群 5.39(0.74)→5.16(0.64) 対照群 5.35(0.83)→5.28(0.78) ・HDLコレステロール, μmol/L 介入群 1.30(0.23)→1.17(0.36)* 対照群 1.28(0.35)→1.38(0.36) ・中性脂肪, μmol/L 介入群 2.76(1.79)→1.87(0.97) * 対照群 2.50(1.48)→2.63(2.01)
結論: 4週間の禁酒により、中性脂肪値は有意に減少した。一方HDLコレステロール値も有意に減少した。
備考: